

患者調査の概要

国立がん研究センターがん対策情報センター
若尾 文彦

資料 2-12

患者調査の準備について

調査票(案)作成

全体目標から抽出された項目
分野別課題から選定された指標で患者調査で計測するもの
緩和ケア分野から選定された指標で患者調査で計測するもの
平成25年度パイロット調査から重要と考えられた項目
→上記4群より調査票(案)を作成

調査票(案)評価

インタビュー(患者市民パネル)11人
→インタビューで確認された問題点を改善
模擬調査(インタビュー対応者以外のパネル)
一部のメンバーには、繰り返し調査を実施

↓
模擬調査で確認された問題点を改善し、
調査票最終版を作成

図14. 調査票(案)の評価、関係の専門家からの意見や患者市民パネルからの意見を踏まえて修正する
図15. 調査票(案)の評価、関係の専門家からの意見や患者市民パネルからの意見を踏まえて修正する
図16. 調査票(案)の評価、関係の専門家からの意見や患者市民パネルからの意見を踏まえて修正する
図17. 調査票(案)の評価、関係の専門家からの意見や患者市民パネルからの意見を踏まえて修正する
図18. 調査票(案)の評価、関係の専門家からの意見や患者市民パネルからの意見を踏まえて修正する

患者調査の対象について

<対象病院>

- 都道府県がん診療連携拠点病院(51施設)
- 各都道府県における地域がん診療連携拠点病院(各1or2)
=>施設の選択は事務局で乱数により実施
- 国立がん研究センター中央病院・東病院

<対象患者>

- 2012年の診断・自施設初回治療患者で、各施設において診断時19歳以上(調査時20歳以上)の患者を対象とする。
- 希少がん(院内がん登録からの推計で10万人あたり6以下の種類、17%)は全員(30名を上限)
- 19歳以上40才未満は全員(5%程度と推定、上限30名)
- それ以外のがん患者は無作為抽出で90名
- 発送時亡くなっていることが判明した方も除外しない。

患者調査の実施について

<調査手順>

- 2012年症例で対象施設の協力の下、対象患者を抽出する。
 - 抽出された症例について、専用ソフトにより、住所・氏名付きリストを作成。
 - リストを発送委託業者に送付。
 - 委託業者が、リストに基づき、質問紙を発送。
 - 回答者は、同封された封筒で研究班事務局窓口(委託業者)に返送。
 - データを入力、集計。
 - 参加施設へは施設別の集計を送付。
- ※委託業者は研究班で契約。3.-4.について、委託業者へ宛先情報を送付することが許容できない場合には、病院にて封入・発送を行って頂く。

